

緑陰広場の利活用の推進の考えは

開成町北部地域活性化事業の中心施設となっている「あしがり郷 瀬戸屋敷」の指定管理者は、1期目に引き続き令和2年度からも同じ管理者が継続運営している。

今後の更なる活性化策として瀬戸屋敷の西側に位置している緑陰広場の利活用の推進を考えるべきである。

例えば、開成駅東口前広場で、開催している「開成マルシェ」と同じ様な採れたての地元野菜や手作り品の販売を手掛けている方々とコラボし、月1回の定期開催をする。

開催にあたっては、特に南部地域の人達に重点的に北部地域の良さを感じていただきながら、マルシェで買い物をしてリニューアルした瀬戸屋敷にも立ち寄っていただければ北部と南部の経済循環に繋がると考える。

また、町長は3期目の公約で田舎モダンな町を目指して、更なる成長を図るとし、プレイパークの充実に向けて緑陰広場の整備をうたわれている。

プレイパークにおける自然の中での学びや遊びは、子どもの心を豊かにし保護者同士のコミュニケーションづくりにもなると期待される。

以上を踏まえて次の点について伺う。

- 1 北部地域・南部地域の経済循環の促進策は。
- 2 緑陰広場周辺道路の安全確保策は。
- 3 子ども達の声が響く場づくりは。